

日本国際連合学会 (JAUNS) ニュースレター第10号

2005年12月27日発行

日本国際連合学会事務局

〒162-8473 東京都新宿区市谷本村町42-8

中央大学法科大学院研究室2823号室

TEL/FAX: 03-5368-3564

- ◎ JAUNS は日本国際連合学会の英文名称 (Japan Association for United Nations Studies) の略です。
- ◎ このニュースレターには学会の活動や会員の皆様へのお知らせを記載します。
- ◎ 学会へのご意見・ご質問などは上記事務局へお寄せ下さい。

1. 第5回日韓安全保障セミナーの開催および第6回日韓安全保障セミナーの計画

2005年9月15・16日、国連大学エリザベス・ローズ国際会議場において第5回日韓安全保障セミナー「21世紀の国連における日本と韓国」が開催され、韓国からカン・スン・ハック (Kang Sung-Hack) コリア大学教授 (韓国国連システム学会会長) ほか9名が参加し、日本側も明石理事長ほか9名が参加しました。また、このセミナーは、本学会会員にも公開され、30名を超える会員が出席しました。なお、このセミナー開催に際しましては、社団法人・東京倶楽部から多額の財政的支援をいただきました。同倶楽部に対して心より感謝申し上げます。2006年度は韓国国連システム学会主催で第6回日韓安全保障セミナーが韓国で開催される予定です。

2. 第7回 (2005年度) 研究大会の開催および第8回 (2006年度) 研究大会の計画

本学会の第7回 (2005年度) 研究大会は、2005年5月28・29日、国連大学エリザベス・ローズ国際会議場で開催されました。テーマ、報告者等の詳細は、事前に会員に案内状をお送りしましたが、年報第7号にも掲載される予定です。また、第8回 (2006年度) 研究大会は、「日本と国連の50年一過去、現在を踏まえて将来を展望する」(仮題)を共通テーマに、2006年6月3・4日、京都大学にて開催されることになりました。プログラムの詳細は、2006年4月中旬頃案内状とともに発送する予定です。なお、第2日 (6月3日) 午後のセッションは独立報告 (共通テーマとは必ずしも関係なくてよい) を2~3名の会員にさせていただくこととなりますので、特に若い会員の皆様の積極的なお申し出を歓迎いたします。報告希望者は、学会事務局または研究連絡主任の位田隆一会員まで、報告のテーマおよび要旨 (A・4 1頁程度) を2006年2月末日までにお送り下さい。

3. 新入会員の承認および仮承認

・新入会員

下記の方々の入会が、2005年5月28日の理事会で承認されました。

池上清子、浦川絃子、大木基、小沢初恵、上野友也、久山純弘、坂根徹、
佐藤丙午、中川亜起子、中満泉、野村彰男、蓮生郁代、堀尾藍、松井啓

[以上 14名]

・仮承認会員

下記の方々の入会が、2005年10月21日の運営委員会で仮承認されました。これらの方々は、次回理事会において入会が正式に承認されますが、実際上は仮入会の段階で会員と同じ扱いをしております。

伊藤哲朗、川口智恵、栗原ゆり、柴田裕輔、中村文子、村上清

[以上 6名]

4. 休眠会員

下記の方々が休眠申請を出され、2005年5月28日の理事会で承認されました。

上田秀明、岡部大介、小和田恒、近藤眞智子、水野時朗

[以上 5名]

5. 退会者

下記の方々が退会を申し出られ、2005年5月28日の理事会および10月21日の運営委員会で承認されました。

伊藤皓文、大畑篤四郎、奥田和彦、加藤俊作、金子熊夫、河野真理子、柴田寛二、
高橋慶太、戸賀崎誠、野口晏男、坪内隆彦、中井さやか、中原喜一郎、古川照美、
三輪徳子

[以上 15名]

※50音順、敬称略

6. 会費納入のお願い

このニュースレターとともに会費請求書が同封されている方は、至急ご納入下さいますようお願いいたします。本学会は会費収入を主な財源として運営されておりますため、皆様のご協力が不可欠です。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。なお、行き違いの際はご容赦下さい。

連絡先が変わられた方は事務局までお知らせ下さい。